

会報



八王子学園同窓会

校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞
宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ
友と語らう 今日のよろこび
平和の小鳩 空たかく
ああ あふれる 智恵の泉
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ
友と夢みる 明日のしあわせ
文化の光 野にみちて
ああ きらめく 若き力
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場
日ごといそしむ 愛のまなびや
希望の旅路 雲とおく
ああ はばたく 智恵のつばき
自由の学び舎 八王子学園



ご 挨拶

八王子学園同窓会
会長 濱野 益 男

平素は同窓会の活動に対しご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、今年には戦後70年目に当たる年です。私が当時の八王子中学校に入学したのは、終戦から約半年過ぎた昭和21年4月、旧制中学校6年制最後の入学生でした。以後69年が過ぎました。

今、校門にたつて学校を見渡したところ、我々が入学した頃の面影は全くありません。かつて校舎に沿って植えられていて、校歌にも取り上げられている「すずかけの樹」、また、校庭のあちこちにあった櫟の大樹も今は見られません。

学校は大きく、近代的に立派に変わり、今では我々が通った当時の面影は全く見られなくなっています。しかし終戦後の混乱期を学園で過ごした生徒達の証言で今まで全く知られていないことが判りました。・山梨県上野原に分校があったこと、・苦学生を救済するため雨天体操場の一角を囲って学校工場があったこと、・なかよし幼稚園は創立時高校と同じ校舎で始まったこと、・終戦後10年間本校に定時制高校が併設されていたこと、・戦時中軍需工場への学徒動員と軍隊への志願兵の募集等々、今では全く考えられない事実が判明しました。そして、その時代を体験し、生き抜いた我々の先輩達の記録、資料がほとんど残されていない現状です。加えてこれらの事実を知っている先輩達の高齢化が進んでいること等を考え、当会としてはこのままでは失われて行くであろう文書、写真等を収集し保存すべきと考え、今回「八王子学園同窓会資料収集・保管規定」(案)を定め、この活動を進めたいと考えております。このことは昨年の会報においてもお知らせいたしました。宜しくご審議いただきますようお願いいたします。

本年の定期総会の時を迎えました。定期総会は昨年度の活動結果をお知らせし、本年度の活動等についてご審議いただく年一度の全体会議の場であり、会員相互の交流と親睦を図る大切な機会でもあります。会員皆様のご参加をお待ちしております。

ご挨拶

学校法人八王子学園

理事長 佐藤 寛文

皆さんこんにちは。本日は、お忙しいなか74年目の同窓会総会にご出席いただきましてありがとうございます。また、常日頃の物心両面のご支援を心から感謝申し上げます。

今年の夏は非常に暑く大変でした。気候変動の影響かもしれません。茨城県の鬼怒川氾濫による被害も甚大で、自衛隊の救援もあったほどです。また、大きな台風の最大風速は80メートルを記録し、今までとは違うなと漠然と感じています。

本校は平成29年に創立90周年を迎え大きな節目になります。八王子学園を振り返り学園モットーである「人格を尊重しよう、平和を心に培おう」を指針として、大きな目標を設定し、勉強やクラブ活動の更なる充実と発展を目指して参ります。

学園で最大の学校行事である学園祭は、生徒の明るく元気で活発な行動が学園祭を大いに盛り上げ、生徒たちにとって青春の良き思い出の1ページになりました。特に校門のアーチは毎年素晴らしい出来栄で感動しました。また、吹奏楽部の演奏会やダンス部の発表会は毎年人気を博しています。

さて、今年の大学世界ランキングが発表され、アジアで首位だった東大が43位に下がりました。論文の引用数、指導環境などを判断して決めているとのことですが、年々下がっている理由の一つに「考える」教育が不十分であると指摘されていました。

「考える」教育とは受動的ではなく主体的に考える教育のことであり、電子黒板やタブレットなどを利用した教育環境を整えることも必要です。生徒も先生も大変な労力を必要としますが、ランキングが下がったことを契機に改革する必要があると思います。

本校でも、数は少ないですがタブレットなどのIT教育機器を毎年導入することで良い教育環境を整えていきます。先生方の授業準備は大変ですが、理解し易い、考える力を身につける教育活動が始動したことで、将来成果が出ることを期待しています。

選挙権が得られる年齢を引き下げて18歳以上にする改正公職選挙法が先の国会で成立し、来年夏の参議院選挙から適用になります。教育者の責任も重くなったと言わざるを得ません。教員は生徒に自覚と責任を促し、政治について教育し、適切な判断が出来るように努力する必要があると思います。

最後になりますが、同窓会皆様のご健勝を祈り、末長い母校へのお力添えをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶と本校の現状

八王子学園

八王子中学校・高等学校

校長 小山 貢

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

平成24年度に中学校を開校し4年目を迎え、中学校は9クラス234名、高等学校は39クラス1564名になりました。

創立者市川英作先生の教育理念「人格を尊重しよう・平和を心につちかおう」に基づき、生徒の多様な価値観や将来の希望に合わせて、文理特進コース、進学コース（文理選抜クラス・文理進学クラス、総合進学クラス〈進学系/音楽系/美術系〉）、アスリートコースの3コース・3クラス・3類系を採用しています。生徒がお互いの価値観や多様性を尊重しながらお互いに切磋琢磨し自立を目指す教育活動を推進するとともに、高いレベルでの文武両道を目指しております。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展を祈念いたします。

<今春の大学進学結果>

国公立大学名	学部名	合計	私立大学名	合計
北海道大学	文学部	1	早稲田大学	14
宮城教育大学	教育学部	1	慶応大学	7
九州大学	芸術工学部	1	上智大学	3
埼玉大学	工学部	1	東京理科大学	23
信州大学	医学部	1	明治大学	55
千葉大学	工学部	2	青山学院大学	36
電気通信大学	情報理工学部	4	立教大学	15
東京外国語大学	言語文化学部	1	中央大学	62
東京海洋大学	海洋工学部	1	法政大学	50
東京学芸大学	教育学部	1	その他多数	
東京芸術大学	美術学部	2		
東京工業大学	第1類	1		
北海道教育大学	教育学部	1		
山梨大学	工学部	2		
横浜国立大学	理工学部	2		
首都大学東京	システムデザイン学部	1		
首都大学東京	都市教養学部	6		
その他の国公立大学		8		

定期総会次第

平成27年11月1日（日） 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 校歌「愛の学び舎」斉唱
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 濱野 益 男
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 佐藤 寛 文 殿
八王子学園八王子中学校・高等学校
校 長 小 山 貢 殿
- ◇ 議長等の選任 議 長
書 記
議事録署名人（2名） 濱野 益 男（高校4回）
新井 雅 之（高校30回）
- ◎ 議 事
 - 平成26年度 事業報告
 - 平成26年度 決算報告
 - 平成26年度 監査報告
 - 平成27年度 事業計画（案）
 - 平成27年度 予算（案）
 - 八王子学園同窓会資料収集、保管規定（案）について
 - その他
- ◇ 議長解任
- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

◆ 懇親会（於：富士森会館「海苑」）

平成26年度 事業報告

◎援助金等の贈呈について

母校在校生の芸術、スポーツ等の部門での優れた活動、成果に対して同窓会の事業の一環として行っている援助金等の贈呈。本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍がありました。本会では、「援助金支給規定」によりこれを顕彰した。

◎同窓会報の発行

平成26年11月1日 同窓会報第16号を発行した。

◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れたトラベルクロックを贈る。また、「同窓会報」を特別に装丁し、卒業生全員に渡した。

◎会議等の開催と参加



- | | |
|-------------|--|
| 平成26年11月 2日 | 第74回八王子学園同窓会定期総会を母校マルチメディア教室で開催した。総会では、平成25年度事業報告、決算報告及び26年度事業計画及び予算案等を審議、承認した。
第二部は、富士森会館「海苑」に会場を移して懇親会を行った。 |
| 12月13日 | 全国高校女子駅伝京都大会出場壮行会 役員が出席した。 |
| 12月20日 | 男子バスケット部ウインターカップ出場壮行会 役員が出席した。 |
| 平成27年 2月20日 | 役員会開催。新年度の運営方針及び文書保管規定について協議した。 |
| 3月 6日 | 八王子学園八王子高等学校卒業式（オリンパスホール八王子）
三役が出席した。同窓会会長より祝辞を贈る。 |
| 3月18日 | 八王子学園八王子中学校卒業式 役員が出席した。 |
| 4月 8日 | 八王子学園八王子高等学校入学式（オリンパスホール八王子）及び八王子学園八王子中学校入学式（本校講堂） |
| 7月17日 | 三役会開催。本年度定期総会及び懇親会場等について協議した。 |
| 7月18日 | 陸上部高校総体出場壮行会 役員が出席した。 |
| 7月19日 | 男子バスケット部全国大会出場壮行会 役員が出席した。 |
| 9月18日 | 理事会開催。定期総会、懇親会並びに文書保管規定について協議した。 |
| 10月 9日 | 幹事会開催。定期総会開催に伴う諸問題について協議した。 |
| 10月24日 | 吹奏楽部マチング及び吹奏楽コンクール全国大会出場壮行会 役員が出席した。 |

監査報告書

平成27年11月1日

八王子学園同窓会

会長 瀨野 益男 殿

監事 須田佳津緒 
監事 渡辺 保 

私共は、八王子学園同窓会の平成26年度(第74回、平成26年11月1日から、平成27年10月31日まで)収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

記

八王子学園同窓会の平成26年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

平成26年度(第74回) 八王子学園同窓会収支報告

自 平成26年11月 1日
至 平成27年10月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	16,289,414	16,289,414	普通預金(6,274,602円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,437,000	3,430,000	@7,000円×490名
預 金 利 息	800	946	預金利息
雑 収 入	70,000	86,000	懇親会参加費(@1,000×86名分)
合 計	19,797,214	19,806,360	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	650,000	599,140	総会々食代(26.11.2、於:富士森会館「海苑」、他)
会 議 費	300,000	241,006	役員会(99,446円)、理事会(23,260円)、幹事会(76,500円)、三役会(35,800円) 文書保管規定作成検討会(6,000円)
印 刷 製 本 費	400,000	428,760	卒業生配布用会報印刷代(205,200円) 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代(29,160円) 総会配布用会報印刷代(194,400円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	120,000	92,040	幹事委囑状郵送代(3,640円)、幹事会・総会出欠往復ハガキ代(62,400円) 総会開催通知ハガキ代(26,000円)
交 通 費	30,000	11,848	役員交通費(遠方来校者)
援 助 費	2,000,000	2,375,000	クラブ援助金(2,135,000円)、八学杯協賛金(240,000円)
慶 弔 費	50,000	26,200	故・渋谷守生氏香典(10,000円)、生花代(16,200円)
諸 会 費	30,000	0	
記 念 品 費	550,000	465,432	卒業記念品代(トラベルクロック、@¥946×492個)
雑 費	100,000	0	
予 備 費	500,000	0	
合 計	4,880,000	4,389,426	
差 引 残 高	14,917,214	15,416,934	次年度繰越金 普通預金(5,402,122円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)

平成26年度 クラブ援助金等内訳

【クラブ援助金内訳】

吹奏楽部	1,040,000 円
書道部	40,000 円
陸上競技部	505,000 円
男子バスケットボール部	360,000 円
女子バスケットボール部	50,000 円
柔道部	60,000 円
水泳部	30,000 円
野球部	50,000 円
計	2,135,000 円

【八学杯協賛金内訳】

男子バスケットボール部	60,000 円
女子バスケットボール部	60,000 円
柔道部	120,000 円
計	240,000 円

合計 2,375,000 円

平成27年度 事業計画(案)

例年の同窓会活動を踏襲するとともに、同窓会活動の活性化と効率化を図る活動を進めていきます。

◎援助金の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施します。

◎同窓会報の発行

同窓会会報第17号を平成27年11月1日に発行します。また3月には新会員用(卒業生用)の会報を作成し、交付する予定です。

◎卒業生に記念品の贈呈

新卒業生に対する記念品の贈呈は、例年の通り本年度も実施の予定です。品物等については、後日、協議の上決定します。

◎会議等の開催

三役会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則の検討、会報発行に係わる委員会を開催します。

なお、資料の収集、保管及び管理に関する委員会の設置を検討します。

同窓会からのお知らせ

◆平成27年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日時 平成28年11月6日(日) 午後1時より

会場 母校マルチメディア教室

※総会終了後、懇親会を開催いたします(会費1,000円予定)。

平成27年度(第75回) 八王子学園同窓会収支予算(案)

自 平成27年11月 1日
至 平成28年10月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,416,934	普通預金(5,402,122円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,297,000	@7,000円×471名
預 金 利 息	800	預金利息
雑 収 入	70,000	懇親会々費(@¥1,000)、他
合 計	18,784,734	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	650,000	総会々食代(27.11.1、富士森会館「海苑」)、他
会 議 費	300,000	三役会・役員会・理事会・幹事会等会議費
印 刷 製 本 費	450,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会開催通知及び幹事会・総会出欠往復ハガキ印刷代
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	110,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代
交 通 費	20,000	役員交通費(遠方来校者)、他
援 助 費	2,200,000	各クラブへの援助金、八学杯協賛金、他
慶 弔 費	50,000	
諸 会 費	30,000	
記 念 品 費	500,000	卒業記念品代
雑 費	100,000	
予 備 費	500,000	
合 計	5,060,000	

差 引 残 高	13,724,734	次年度繰越金 普通預金(3,709,922円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
---------	------------	--

思い出の記

—同窓会々員より—



『モネ展雑感』

副会長 福与 孫十

東京都美術館で開催中のモネ展「印象、日の出」から「睡蓮」までを参観した。展示作品は6つの章で構成されていたが、私が興味をひかれたのは5章の「睡蓮と花」、6章の「最晩年の作品」である。睡蓮と花では「小舟」という作品がすばらしかった。構図より画面の大部分を占めている水面と水中で揺らめいている水草の描写に目を奪われた。絵画では動いている物の描写はむずかしいと思うが、この作品では光を反射しながら揺れている水草を幾つかの色を使って表現している。更にこの作品の特色は、どこからが水面でどこからが水中なのか明確ではない所である。

モネの作品を観て共通して感じるのが良い意味での「曖昧」である。日本語では対象物をはっきり描かない、まぎらわしいと言う意味だが英語では“ambiguous”となり同じ語句が2つ以上いくつにも解釈できるための曖昧さを示すと説明している。この説明の語句の部分を「モネの作品」に入れかえれば特色が理解できる。例を示すと代表的な作品「印象、日の出」が発表後、朝日の描写なのか夕日の描写なのか大論争になったことから分かると思う。

ノーベル文学賞を受賞した川端康成や大江健三郎が受賞記念講演で“ambiguous”にふれているのも興味ある共通点といえる。

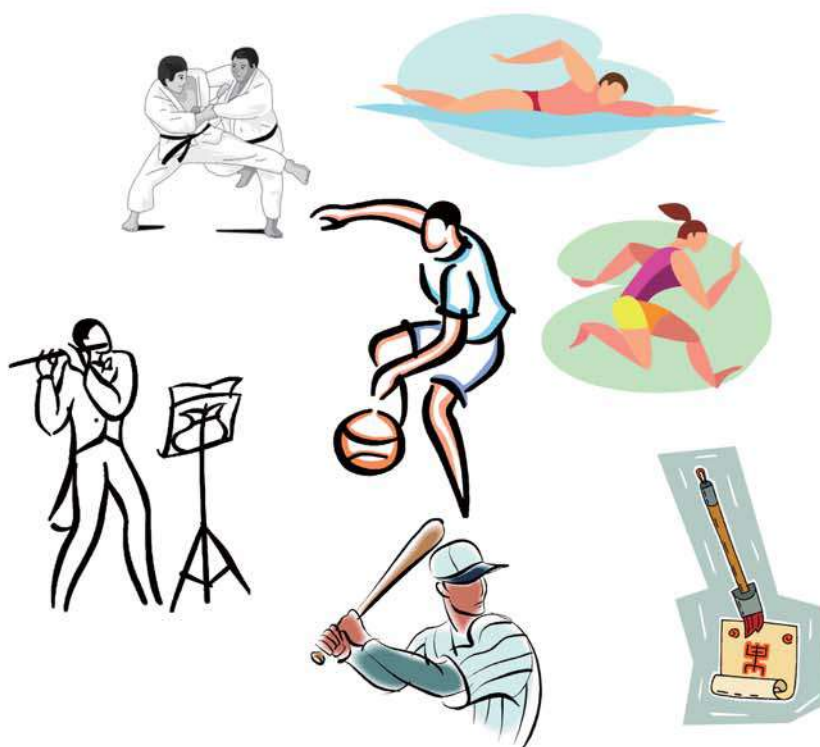
最晩年の作品「しだれ柳」「日本の橋」ではこの傾向が更に色濃く表現されている。

絵画では自分の目で作品を観ること、音楽では自分の耳で聴くこと、人物では本人から直接話を聞くことの大切さを今更ながら感得させられたモネ展だった。

このことから同窓会にささやかな提言をしたい。同窓会にはOB、OGの中に各界で名を挙げている人も多いと思う。是非そうした人物を招聘して生の体験談などを企画して同窓会の文化的活動の一助として頂きたい。



援助費支給クラブの活動報告



八王子学園八王子高等学校
吹奏楽部顧問 高梨 晃

同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年の夏のご報告ですが、まずは 8/10(月)～15(土)府中の森芸術劇場で行われた『第 55 回東京都高等学校吹奏楽コンクール』にA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。昨年同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A・C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、B組は最優秀賞グランプリを受賞、A組は東京都大会へと駒を進めました。また、C組は 20 名のメンバーの中に今年も中学生 1 名が参加しており、中高合同メンバーでの大会出場となりました。



そして 9/12(土)に行われた『第 55 回東京都吹奏楽コンクール』に出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。この大会は、8月の予選で出場した約 80 校のうち上位 12 校が出演するもので、どの学校も大変素晴らしい演奏を披露しました。また今年は、本校を含む 6 校が金賞を受賞するといった異例の事態となり、例年以上のハイレベルな大会であったことを物語りました。この 6 校の中から全国大会に進めるのは上位 3 校で、プログラム順で全国出場校が発表されます。本校は、プログラム順最後の 12 番。まず、プログラム 1 番と 5 番の学校が選出されました。残す 1 枠を祈るような気持ちで聞きました。そして、「プログラム・・・12 番八王子学園八王子高等学校！」皆、歓喜の声を上げました。



次に、『第 28 回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が 8/30(日)に有明コロシアムで開催され、本校は高校以上の部に出場しました。高校 9 団体、一般 1 団体の計 10 団体が出場し、本校は金賞、その他に 3 団体が金賞を受賞しました。その 4 つの金賞団体から 1 団体のみが全国大会出場権を獲得します。結果、全国大会出場権を得ることができました。強豪団体を抑えての 1 枠を勝ち取ることができ、喜びに満ち溢れた時間となりました。

今年は、吹奏楽とマーチングの両方で東京代表として全国大会の出場が決まりました。本校としては 3 年ぶり、W 全国出場は東京では本校のみの快挙を成し遂げることができました。どちらの全国大会も座席指定券は即日完売の大人気公演です。より完成度の高い演奏演技と八王子らしい爽やかなサウンドが披露できるように精一杯練習に励んでまいります。

また、昨年度末のアンサンブルコンテストは金管 8 重奏が東京代表として全国大会に出場することができ、金賞を受賞しました。定期演奏会前日の開催であった為なかなか落ち着いた練習時間を確保することが困難でしたが、全国の大舞台では堂々とした演奏を披露してくれました。

このように、全国区で活動できるのも日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者全ての方のお陰と心より感謝申し上げます。また、12 月中旬に台湾の文化庁から招聘され、吹奏楽、マーチング共に海外でも披露させていただく機会に恵まれました。その他にも、幼稚園や小中学校、大学、市内外からの依頼演奏等、沢山の本番を控えております。一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。

平成 27 年 10 月 1 日

八王子学園八王子中学校八王子高等学校 書道部 平成 26～27 年 活動報告

顧問 安藤和則

コーチ 遠山真実・鈴木希美

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

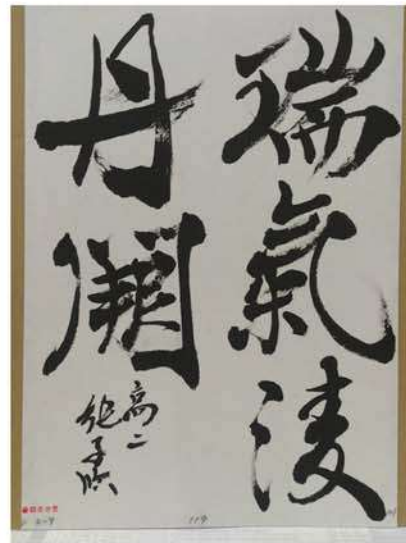
以下に平成 26 年 10 月から 27 年 9 月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は 20 名(内中学生 2 名)で全員女子です。

- 27 年 3 月に卒業した 3 年生 2 名は、慶應義塾大学 商学部、工学院大学 建築学部にそれぞれ進学しました。
- 26 年 10 月には創玄書道会主催の「第 51 回全国競書大会」に半紙大で出品しました。この展覧会は高校の全学年の芸術書道選択者約 400 名と一緒に参加しました。誌上展ですので展示はなく主催者発行の月刊誌に掲載されました。出品料は 350 円で各自諸経費で徴収しています。顧問の安藤とコーチの遠山は審査員です。書道部の結果は次の通りです。

26 年 10 月 「全国競書大会」

金剛峯寺賞	2-7	樋口 純子
学年優秀賞	1-13	瀬尾 有紀
大会委員長賞	2-6	鈴木 香帆
〃	2-8	徳永 鈴香
〃	2-12	久島 千弥

☆金剛峯寺賞の樋口さんは昨年の高野山競書大会で同じ賞を受賞しています。瀬尾さんは副部長として頑張っています。写真は樋口さんの受賞作品です。東京目白にある創玄会館に展示されました。



金剛峯寺賞 樋口純子

- 26年11月は毎日新聞社主催の「第23回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会で、文字通り中国やインドなど海外の高校生も出品しています。全紙大(137 cm×75 cm)または半切大(137 cm×37.5 cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示するので、表装料を同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

26年11月 「書の甲子園」

優秀賞	2-7	樋口 純子
入 選	3-3	鄭 与佳
〃	3-7	光本 日向子
〃	2-5	中澤 瑞稀
〃	2-6	鈴木 香帆
〃	2-8	徳永 鈴香
〃	2-9	飯岡 香純
〃	2-12	久島 千弥

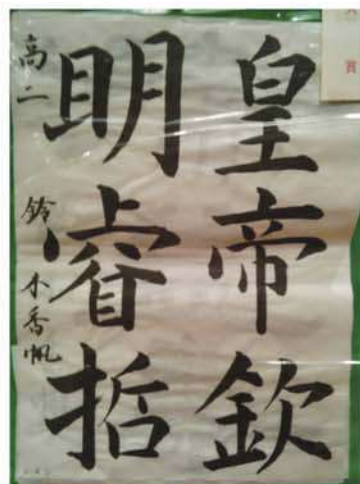
- 27年1月は鷗友書道会主催の「第37回鷗友書道展」に半紙大で出品しました。この展覧会は高校の芸術書道選択者約400名と一緒に参加しました。出品料は350円で、各自諸経費で徴収しています。顧問の安藤は審査員です。書道部の結果は次の通りです。

27年1月 「鷗友書道展」

大賞	2-6	鈴木 香帆
毎日新聞社賞	中 3-3	小鶴 奈々華
学年優秀賞	2-7	樋口 純子
〃	1-13	瀬尾 有紀
〃	中 3-2	坂村 のぞ美
鷗友顧問賞	2-12	久島 千弥
太熙堂賞	1-5	仲川 千尋
協賛賞	2-8	徳永 鈴香
奨励賞	2-5	中澤 瑞稀
〃	2-9	飯岡 香純
〃	中 3-2	西口 杏樹
〃	中 3-3	谷津 好香
〃	中 3-3	横田 真優
〃	中 2-1	伊藤 亜海

☆鈴木さんの大賞は快挙です。楷書でありながら温かい線質の妙をご覧ください。

☆写真は27年1月4日東京信濃町の明治記念館での表彰式会場内に展示された受賞作品です。



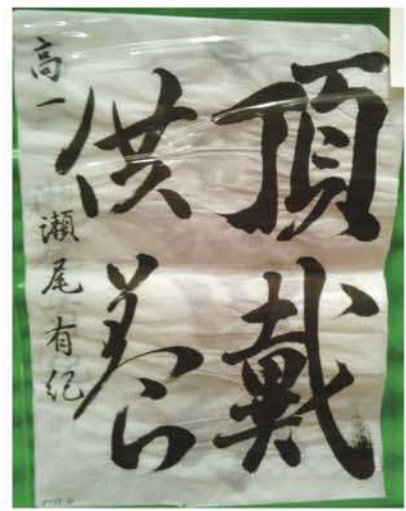
大賞 鈴木香帆



毎日新聞社賞 小鶴奈々華



学年優秀賞 樋口純子



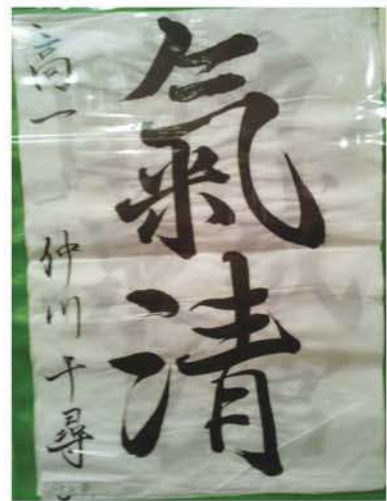
学年優秀賞 瀬尾有紀



学年優秀賞 坂村のぞ美



顧問賞 久島千弥



太熙堂賞 仲川千尋



協賛賞 徳永鈴香



奨励賞 中澤瑞稀



奨励賞 飯岡香純



奨励賞 西口杏樹



奨励賞 谷津好香



奨励賞 横田真優



奨励賞 伊藤亜海

●27年3月は創玄書道会主催の「第51回創玄展」に出品しました。この展覧会は主に書家を目指す人達が出品するレベルの高い展覧会で、書道部も9年ほど前から参加しています。作品の大きさも全紙よりも大きく150cm×60cm又は90cm×90cm大で一般生徒には難しく、書道部のみ参加しています。毎年夏休みの合宿で部員それぞれの力に合った作品の傾向を考えます。コーチの遠山先生は審査員で、180cm×78cm大の作品を出品しています。この展覧会の生徒の表装料は同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

27年3月 「創玄展」

二科賞	2-8	徳永 鈴香
準二科賞	2-5	中澤 瑞稀

☆徳永さんの二科賞は快挙です。作品は東京乃木坂の国立新美術館に展示されました。

☆写真は受賞作品です。臨書の基本がしっかりとできたことと、墨の潤滑の変化が絶妙で遠近感が出た作品で賞につながりました。



二科賞 徳永鈴香



準二科賞 中澤瑞希

●前記の「第 51 回創玄展」と併設している「第 51 回創玄学生展」には、中学生を中心に出品しました。高校生は半切大、中学生は半切 4 分の 1 大(八つ切り)です。中学生は大展覧会には初の出品でしたが、日頃の練習を良く活かしました。

結果は次の通りです。

27 年 3 月 「創玄学生展」

毎日新聞社賞	1-13	瀬尾 有紀
奨励賞	中 3-3	小鶴 奈々華
特選	中 3-2	坂村 のぞ美
〃	中 3-3	谷津 好香
秀作	1-5	仲川 千尋
〃	中 3-2	西口 杏樹
〃	中 3-3	横田 真優
〃	中 2-1	伊藤 亜海

始平公像一區

毎日新聞社賞 瀬尾有紀

羽風輕手歳

奨励賞

魏魯郡

特選

請工鏤石

特選

義之頓首表氣之極
先墓再離荼毒

秀作 仲川千尋

惠風和暢

秀作

弘福寺沙門

秀作

強い意志

秀作

- 26年5月は、高野山金剛峯寺主催、毎日新聞社後援の「第50回高野山競書大会」に半紙大の作品を出品しました。この展覧会は書道部のみの出品です。結果は次の通りです。

27年5月 「高野山競書大会」

総長賞	3-8	徳永 鈴香
協会賞	3-7	樋口 純子
推薦	3-12	久島 千弥

●写真集



8月蓼科 合宿



合宿



4月新入生歓迎パフォーマンス



「一筆入魂」揃いのTシャツで気持ちを一つに！

学園祭 毎年大勢のお客様。感謝です。



感 謝

八王子学園

柔道部監督 川野 昭吾

八王子学園同窓会の方々におかれましては、日頃より監督であります私をはじめ柔道部に心温まるご厚情を賜りまして、深く感謝申し上げます。

昭和56年、私が日本体育大学を卒業しましてこの八王子学園に奉職し、同時に柔道部の監督となりまして、今年で35年目を迎え残り僅かとなりました指導者人生に悔いを残さない様日々努力いたしているところです。この間も歴代の理事長先生・校長先生をはじめ多くの諸先生方、そして同窓会の諸先輩方にご指導・ご助言を賜りながら歩んで参ることができました。この書面をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。



この35年の間に数多くの教え子達にも恵まれ、現在はその教え子たちはOB会として一致団結の中、陰より私をはじめ柔道部を支えてくれております。

その教え子の中には、昭和60年度卒の小川直也という全日本選手権の連覇等の国内大会のみならずオリンピックや世界選手権で優勝する選手の育成に携わることができ、指導者として最高の幸せを感じております。今でも宝物として大切にしております。

また、小川の他にも高校時代に八王子学園の看板を背負ってインターハイや国体、関東大会等で堂々と戦い活躍した教え子達も大勢おり、そのことも指導者冥利に尽きるものであります。

更に今春には中学校のトップクラスで既に全日本カデ選手権等で活躍しており、東京オリンピックの候補にもなる逸材と言われております大型選手(190cm・140kg)が入学してくるという話題も柔道部にとりましては明るい材料になることかと思っております。

尚、その新入生の父親は小川直也の代のキャプテンの戸高で高校・大学で選手として活躍した後、現在は町道場で指導者として頑張っております。これも大きな縁を感じました。

現在、このような教え子達を休むことなく日々指導に邁進できていることに感謝しつつ、心身共に健全で強固な人間力を兼ね備えた柔道人の育成に尽力したいと考えています。

これからも、今までと変わらぬ精神で日々指導に取り組んで行く所存でおりますので、同窓会の方々には変わらぬご助言・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、前記の教え子達が、在学中から卒業後に至るまで活躍した足跡を記載しました。スペースの関係で一部しか記載できませんが、教え子達の血と汗と涙の結晶ですので、ご高覧いただければ幸いです。

また、前記の教え子達が、在学中から卒業後に至るまで活躍した足跡を記載しました。スペースの関係で一部しか記載できませんが、教え子達の血と汗と涙の結晶ですので、ご高覧いただければ幸いです。

【本校在学時、全国規模以上の大会のみ】

昭和	57 年度	日米高校対抗試合	日本71kg級代表	阿部雅人、国際武道大—大成建設
	58 年度	日独高校対抗試合	日本95kg級代表	井上貴史、拓殖大—自営業
	59 年度	若潮杯全国招待試合	団体戦	5 位
	60 年度	金鷲旗争奪全国高校柔道大会	団体戦	9 位
		インターハイ	男子95kg超級	5 位 (小川直也—明治大—格闘家)
		国民体育大会柔道競技	少年男子の部	優 勝 (小川直也—明治大—格闘家)
		全日本ジュニア選手権	95kg超級	5 位 (小川直也—明治大—格闘家)
	62 年度	全国高校柔道選手権大会	女子72kg級	5 位 (川西栄子—国武大—看護師)
	63 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位 (川西栄子—国武大—看護師)
平成	元 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位 (川西栄子—国武大—看護師)
	3 年度	国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	5 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
	4 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	5 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
		国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	準 優 勝 (野崎琴江—学芸大—主婦)
	5 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	準 優 勝 (野崎琴江—学芸大—主婦)
		インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
		国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江—学芸大—主婦)
	6 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	9 位 (小川美奈子—都立短大)
	7 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子中量級	5 位 (小川美奈子—都立短大)
			女子軽量級	9 位 (長岡由紀子—栄養士)
		全国高校柔道選手権大会	女子56kg級	3 回 戦 (小川美奈子—都立短大)
			女子66kg級	2 回 戦 (小林実子—本校事務)
	8 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	5 位 (田中美穂—淑徳短大)
			女子軽量級	5 位 (長岡由紀子—栄養士)
	10 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子軽量級	5 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
		全日本ジュニア選手権	女子48kg級	2 回 戦 (館岡美貴—都立短大—主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子48kg級	5 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
平成	11 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子軽量級	3 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
		全日本ジュニア選手権	女子48kg級	5 位 (山本良子—桜美林大—主婦)
	13 年度	関東高校柔道大会	男子無差別級	5 位 (石倉光彦—横浜桐蔭大)
		全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
		全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
	14 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
	15 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
		全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
	16 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
	17 年度	インターハイ	男子60kg級	3 位 (高橋 治—国際武道大)
		全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	準 優 勝
		国民体育大会柔道競技	少年男子の部	3 位 (高橋 治—国際武道大)

18年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	インターハイ	男子90kg級	出 場 (平山涼二ーセントラル警備)
19年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
20年度	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	優 勝
22年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
23年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	2 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
24年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
	インターハイ	男子60kg級	3 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
25年度	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
27年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	4 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位

【35年間で関東大会以上の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (18回出場)
	男子個人戦 (1回出場)
	女子個人戦 (10回出場、うち準優勝1回、3位2回)
インターハイ	女子団体戦 (2回出場)
	男子個人戦 (4回出場、うち3位1回、5位1回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (2回出場、うち優勝1回、3位1回)
全日本ジュニア選手権	男子個人戦 (1回出場、うち3位1回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (2回出場)
	女子個人戦 (7回出場、うち準優勝1回、5位2回)
全国体育系高校柔道大会	男子団体戦 (8回出場、うち優勝1回、準優勝1回、3位3回)

【35年間で東京都大会の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (3位1回、5位12回)
	男子個人戦 (準優勝1回、3位4回、5位15回)
	女子個人戦 (優勝6回、2位5回、3位5回、5位5回)
インターハイ	男子団体戦 (3位4回、5位14回)
	女子団体戦 (優勝2回、2位1回、3位4回、5位2回)
	男子個人戦 (優勝4回、2位1回、3位24回、5位35回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位9回、5位16回)
	女子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位5回)
学年別団体戦	各学年団体 (3位10回、5位29回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (3位3回、5位13回)
	男子個人戦 (3位4回、5位5回)
	女子個人戦 (優勝7回、2位13回、3位6回、5位1回)

【卒業後のOBたちの活躍、全国規模以上の大会の戦績のみ】

- ・小川直也(明治大ーJ R Aー格闘家)
全日本柔道選手権大会(連覇を含む多数優勝)、世界柔道選手権大会95kg超級・無差別級(金メダル)
バルセロナオリンピック95kg超級(銀メダル)、他日本のみならず国際級の選手として活躍
- ・倉吉智宏(日本体育大ー京葉ガス)
ベトナム国際柔道大会90kg級(銅メダル)、国民体育大会成年の部(千葉県代表、3位)
- ・山本良子(桜美林大ー主婦)
講道館杯世界柔道選手権国内選考会女子48kg級(出場)
- ・石倉光彦(横浜桐蔭大ー飲食店勤務)
関東学生体重別選手権大会100kg超級(3位)
- ・斉木敏明(山梨学院大ー会社員)
関東ジュニア選手権大会73kg級(優勝)、全日本ジュニア選手権大会73kg級(5位)
関東学生体重別選手権大会73kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権大会73kg級(5位)
講道館杯柔道選手権大会73kg級(5位)
- ・古田秀州(國學院大ー神奈川県警)
東京学生体重別選手権大会100kg級(3位)、全日本学生体重別団体戦(3位)
全国警察官柔道団体戦出場、講道館杯100kg級出場
全国警察官柔道選手権大会100kg級(優勝、警察日本一に輝く)
- ・高橋 治(国際武道大ー千葉県警)
関東ジュニア選手権大会60kg級(3位)、全日本ジュニア選手権大会60kg級(出場)
関東学生体重別選手権大会66kg級(3位)、全日本学生体重別選手権大会66kg級(5位)
- ・平山涼二(セントラル警備ー飲食店)
全日本実業団体体重別選手権大会無差別級(3位)
- ・野村優貴(国際武道大ー川越刑務所)
全日本学生体重別団体戦(5位)、関東学生体重別団体戦(3位)
- ・有田竜之介(国際武道大学)
香港国際柔道選手権66kg級(金メダル)、関東学生体重別選手権66kg級(優勝)
関東ジュニア選手権66kg級(準優勝)、講道館杯66kg級出場、全日本学生体重別団体戦(3位)
- ・藤阪太郎(国士舘大学)
全日本学生体重別団体戦(3位)、全国体育系大学66kg級(準優勝)
東京学生体重別選手権66kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権66kg級(優勝、学生日本一に輝く)
講道館杯66kg級出場

毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や激励金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

昨年度の駅伝、女子においては都駅伝で優勝し、3年連続の全国大会出場を果たすことができました。師走の都大路では15位以内を目標にしていたのですが、残念ながら24位と目標には届きませんでした。しかし、持っている力は出せたのではないかと思います。

また、今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合7位、女子は2位という結果を残しました。この都大会の結果、山梨で行われた関東大会には多人数の出場となりました。関東大会では男子1名、女子13名が6位内に入賞し、14名が7月30日から8月3日まで和歌山県紀三井寺競技場で行われたインターハイに出場することが出来ました。インターハイでは男子走幅跳で4位、女子4x400mRで5位と複数種目で入賞することができました。また他の種目では、決勝まであと一步の所で涙をのみましたが、有望な1、2年生が多くいるので、来年は今年より多く入賞することを目標としていきたいと思います。

現在、短距離、跳躍、投擲においては、都新人大会（9月20、21、23日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者においては、10月に群馬で行われる関東選抜新人大会に出場でき、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、駅伝では、11月3日に行われる都駅伝で、男子においては入賞、女子においては4連覇をめざし、関東大会、全国大会出場を目標に練習に励んでいます。

去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思いません。今後とも応援の程よろしくお願い致します。



【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校
男子バスケットボール部
顧問 石川 淳一

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度前半、我が部は関東大会並びにインターハイに出場することができました。目標を掲げながら、チーム一丸となって戦い、関東大会東京都予選においては3年連続優勝を果たし、関東大会に駒を進めました。同大会では決勝まで勝ち進み、決勝の相手は昨年準決勝で対戦し敗退した土浦日大高校（茨城）。一時はリードするも相手のスティールが続き、逆転を許すも着実に加点し1点差で勝利。2回目の優勝になりました。

インターハイ東京都予選も順当に勝ち進み、決勝リーグは京北高校、日本学園高校、國大久我山高校とのリーグ戦となりました。結果は3勝全勝で4年連続優勝し、11年連続インターハイ出場を果たしました。

インターハイでは、シード校だった為、2回戦からの出場になりました。2回戦阪南大高校（大阪）に92-53で勝利。3回戦では市立船橋高校（千葉）と対戦。関東大会や他の大会で対戦することもあり、お互い仲が知れている相手でしたが、118-89で快勝。準々決勝（ベスト4決）ではマリからの留学生を要する帝京長岡高校（新潟）と対戦。前半は一進一退の攻防が続きましたが、後半に入りファールトラブルで2名が退場。その後歯車が合わなくなり82-64で敗退。結果ベスト8で終わりました。なお、本校より国民体育大会関東ブロック東京代表に5名が選出されるなど（3年：新屋君、多田君、布田君、竹村君、2年：ドウドウ君）、本校の選手が全国レベルにおいても高い評価を受けるに至っております。

今後は11月より始まる高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ11年連続15回出場、関東大会16年連続17回出場を果たすものの、未だ強豪チームとは言い難く、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思っております。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いたします。



2015年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部顧問 前田 彩子

2014年9月1日の始業式から現在の2年生と3年生の新たなチームで活動を開始し、その月の下旬に行われた東京都高等学校新人水泳競技大会では、新チームとしての初めての試合に臨みました。

男女の新キャプテンのもと、個人の自己新記録更新は勿論、チームとして準備・応援・レースをし、全員が少しでもチームに貢献出来るよう一生懸命取り組みました。この試合の結果は、団体で男子・女子、総合優勝をしました。

2015年4月男子12名・女子6名の新入部員を迎え、男子25名・女子21名の46名で1年生から3年生まで揃ったチームがスタートしました。今年度からは水泳部の監督の安芸が退職して日頃は学校にいない中水泳部の活動が始まり、これまで以上に選手1人1人の協力が必要になってきました。

今年度の目標も昨年同様、東京都高体連が主催する3大会で男子・女子、団体で総合優勝とインターハイのリレー種目、男子3種目・女子2種目決勝進出を掲げました。

4月7日～12日、日本最高峰の試合・第91回日本選手権水泳競技大会に3名の選手が出場することができ3年11組の岡本拓也が400m個人メドレー、3年11組の兼子雄太郎が200m背泳ぎ、1年14組の奈須田ゆうかが100m平泳ぎに出場しました。

6月19日～22日、日本水泳連盟主催のジャパンオープンに3年11組の岡本拓也が400m個人メドレーで、1年14組の奈須田ゆうかが100m平泳ぎで出場しました。また、この大会でも多くの卒業生が出場していました。

6月28・29日、東京都高等学校選手権水泳競技大会・兼関東高等学校選手権水泳競技大会予選が東京辰巳国際水泳場で行われました。4月に掲げた男子・女子団体優勝は果たせませんでした。この大会の結果、関東大会には男女合わせて30名の選手が出場権を得ることができました。

7月23日～25日東京辰巳国際水泳場にて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選(インターハイ予選)が行われました。その結果、男子13名・女子13名、合計26名の選手がインターハイの出場権を得ました。全国でも参加人数は2・3番目に多い学校となっています。

8月17日～20日全国高等学校総合体育大会が京都アクアアリーナにて行われました。結果、3年11組の岡本拓也が男子400m個人メドレーで準優勝、200m個人メドレーで3位、3年11組の兼子雄太郎が男子200m背泳ぎで2位、3年11組の宇山智貴が男子200m平泳ぎで8位、3年11組の川端南が女子400m自由形で8位、2年12組の熊谷笑里は50m自由形で8位、またリレーでは男子800mリレー7位・女子400mメドレーリレーで6位という結果でした。今大会では男子

800m リレーが6月に行われた東京都高等学校選手権大会から同じメンバーで9秒もタイムを縮めて決勝に残り、在校生・応援に来て頂いた保護者の方々に感動を与えてくれました。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合からインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体選手が選考されましたが、本校から3年11組の岡本卓也、2年12組の熊谷笑里、1年14組の本間尚輝と奈須田ゆうか以上4名が東京都代表選手と選考されました。結果は、3年11組岡本卓也が少年A男子400m個人メドレー2位・800mリレー5位、2年12組の熊谷笑里が少年A400mリレー（第2泳者）3位、1年14組の本間尚輝が少年B100mバタフライ5位・少年B400mメドレーリレー（第3泳者）第5位、1年14組の奈須田ゆうかが少年A200m平泳ぎ3位・少年A400mメドレーリレー（第2泳者）第2位で、東京都に貢献出来ました。国体でも、卒業生の黒木満佐子、中村桃子が活躍し、貢献しました。

2015年度のチームはこの大会をもって終了し、2016年度の男女の新キャプテンに9月引き継がれました。

本校水泳部のチーム作りは「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、指導をしています。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、結果に繋がります。今年度のチームも最初はバタバタしましたが、3年生がよく話し合い、協力して頑張り、水泳部の伝統づくりに貢献してくれました。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。2016年度に向け気持ちを引き締め、今後も頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。



甲子園出場をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をさせていただきます。

昨年夏の選手権大会西東京大会準々決勝で、悔しい1点差負けを喫してから約2か月が経った9月、新チームの公式戦が、平成26年度秋季東京都大会一次予選(ブロック予選)から始まりました。

1回戦の相手は実践学園。1、2回は選手たちに硬さが見られましたが、3回裏一死二、三塁から1番打者石井雄也(2年)のレフト前ヒットで1点を先取し、さらに2番打者竹中裕貴(1年)のスライズで2点を加え、さらに4番打者西谷浩成(2年)の二塁打で1点が入り4対0、序盤で試合の主導権を握りました。その後も2点ずつを加え、投手陣も三塁を踏ませない好投を見せて、結果10対0の6回コールドで勝利しました。

続く2回戦の相手は、拓大一。この試合は、何と言っても相手打線を7回被安打4、無四球、失点1に抑えた先発投手の背番号12篠原大輝(2年)の熱のこもった投球に尽きると思います。打線も味方投手好投に刺激されたのか、好球必打でチャンスには必ずタイムリーヒットが出て得点を重ね、結果8対1の7回コールドで勝ちをおさめ、次へ駒を進めました。

次は、本大会への出場がかかるA代表決定戦で、相手は日大豊山です。2回裏二死二塁から、7番打者重松秀(2年)のレフト前ヒットで1点を取って先制したものの、その後は好投を見せる相手投手を打ち崩せず、スコアボードに0が並びました。湿りがちな打線に奮起したのか、先発したエースピッチャー横森拓也(2年)が相手打線を散発4安打に抑える好投を見せて、結果1対0の辛勝、6年連続本大会出場を決めると同時に、平成27年度春季東京都大会本大会の出場も決めました。

秋季本大会1回戦の相手は昭和一学園です。2回表に1点を先制し、4回表一死二塁から、8番打者細野悠(1年)のレフト線への二塁打で1点を追加、さらに9番打者竹中裕貴(1年)がレフト前にヒットを放ってつなぎ、1番打者川越駿(2年)のライト前ヒットで1点を加え、3番打者石井雄也(2年)もレフト前ヒットと相手のエラーで打者走者の石井もホームインしてこの回一挙に5点を取り、前半で6対0と大きく点差を広げて試合の主導権を握りました。しかし、先発したエースピッチャー横森拓也(2年)は本来の調子ではなく、7回までに3点を失ってしまいました。結果7対3で勝利し、2回戦へ駒を進めました。



2回戦の相手は桐朋です。序盤は、点を取ったら逆転され、逆転したらまた逆転されるという一進一退の攻防で3対2。先発した篠原大輝(2年)は、2回裏の2失点で目が覚めたのか、それ以降はインコースをうまく突いて、粘り強くていねいに投げてゴロの山を築き、中盤以降、相手打線につけ入るすきを与えないピッチングを見せました。そんなピッチングに応えるかのように各打者も奮起して7回までに毎回得点で5点を追加し、結果8対2で勝利し、3回戦へ駒を進めました。この試合、攻撃面と守備面が一体となって戦っていたという印象が強く残りました。

3回戦の相手は、強豪校の早稲田実です。5回まで互いに一進一退の攻防が続き、スコアボードに0が並びました。この間、チャンスにあと1本ヒットが出て得点していれば、試合展開は違っていたかもしれません。6回表、先発したエースピッチャー横森拓也(2年)が早稲田実打線につかまり、二死一、二塁から4連続長短打を放たれ一挙に4点を先制されてしまいました。7回裏、5番打者の主将佐久本風(2年)のレフト前ヒットでチャンスをつくり、打線がつながって2点を奪い、2対4の2点差まで追い上げました。しかし、8回表一死から、相手4番打者、5番打者に連続本塁打を放たれ、ピッチャー横森はノックアウトされてしまいました。さらに2点を加えられ2対8となり、試合を決定づけられてしまいました。強豪校を相手にして互角に戦うには力不足は否めません。投手力をはじめ打撃力、守備力の面で、早稲田実とは大きな差があるということも痛感した試合でした。

年度が変わった4月、春季東京都大会本大会が始まりました。前述のように、前年度の秋季大会一次予選を勝ち上がり、ブロックのA代表校になりましたので秋季本大会はもちろん、春季本大会の出場も同時に決まっていました。よって、3月中旬に行われた一次予選は戦っていません。本大会は、秋季本大会でベスト16に入ったことにより第5シードとなり、2回戦からの出場です。この大会は、一冬越して控え選手の底上げの成果を見てみたいのと、昨秋からエースとして活躍した横森拓也(3年)を夏へ向けて絶対的エースとして育て上げるために、積極的に起用するんだという意気込みで臨みました。

初戦の相手は都立昭和です。1回表に内野ゴロで1点を先制されましたが、その裏二死二塁から、4番打者西谷浩成(3年)、5番打者石井雄也(3年)連続ヒットで2点を取って逆転に成功。さらに3回裏には、6番打者重松秀(3年)のライトオーバーの二塁打などで4点を追加し、試合の主導権を握りました。その後も5回裏に1点、6回裏には連続押し出しなどで3点を加えて10対1。なおも一死満塁から7番打者佐久本風(3年)の犠牲フライで11対1となりゲームセット。結果6回コールドで勝利し、3回戦へ駒を進めました。先発したピッチャー横森(3年)は、立ち上がりの初回到1点を失ったものの、その後は安定した投球を見せ、被安打1、無四球、毎回となる7奪三振を記録しました。

3回戦の相手は東亜学園です。2回表、相手投手はストライクが入らず連続四死球などで一死満塁となり、1番打者喜多詠士(3年)のライト前ヒットで1点を先制、2番打者竹中裕貴(2年)にも四球で押し出し。この回2点が入りました。4回表には1番打者喜多(3年)の二塁打、3番打者佐々木翼(3年)のライト前ヒットで1点、さらに二死二、三塁から、6番打者重松(3年)の三塁打で2点を加えて5対0となり、前半で試合の優位を決定づけました。その後、5回裏に1点を返されましたが、6回表に2点、8回表には4番打者西谷(3年)の本塁打や7番打者佐久本(3年)の三塁打などでさらに2点を加えて9対1。投げてはエースピッチャー横森(3年)が落ち着いた投球で、相手打線を被安打7、奪三振9、

失点1に抑える好投を見せました。結果、8回コールドで勝利し、4回戦へ駒を進めました。

4回戦の相手は、好投手児玉和樹(3年)を擁する佼成学園です。3回裏、一死二塁から1番打者喜多(3年)のライト前ヒットで、二塁ランナー齊藤光(3年)が一気にホームをつきましたが、タッチアウトになり先制できませんでした。5回までほとんど膠着状態のまま試合は進み、スコアボードに0が並びました。試合が動いたのは6回表、二死二、三塁からピッチャー横森(3年)の暴投で、相手に1点を与えてしまいました。7回裏には二死一、三塁から、打順8番に入っている相手ピッチャー児玉(3年)に左中間を破る二塁打を放たれて0対3。9回表にも1点を加えられ0対4。9回裏、何とか一矢報いたいところで失策と四球などで出塁し、二死一、三塁。代打川越駿(3年)がレフト前ヒットを放って1点を返して完封は免れたものの、結果1対4で敗れてしまいました。やはり強豪校を相手にすると、なかなか自分たちの野球ができない、練習でやってきたことが実践できない、チャンスにあと1本ヒットが出ない、打線が繋がらないなど、夏に向けていくつもの課題が見えた試合でした。

7月5日、第97回全国高等学校野球選手権大会西東京大会が始まりました。春季東京都大会の結果によって、この大会では第5シードとなり、3回戦からの出場になりました。

初戦の相手は都立国立です。1回裏、相手投手の立ち上がりを攻め、1番打者加藤大翔(1年)がレフト前へヒットを放って出塁すると、一死後、打線が繋がって一挙に3点を取って先制しました。その後も3回裏に1点、5回裏に3点を追加して7対0とし、試合の主導権を握りました。また、先発ピッチャーの背番号10をつけた篠原大輝(3年)も危なげのない安定したピッチングで相手打線を散發3安打無失点に抑えこみ、6回裏、相手の失策などで3点が入り、結果10対0の6回コールドで勝利し、次へ駒を進めました。

4回戦の相手は都立総合工科です。この試合は打線が奮起し、1回裏に2点を取って先制すると、2回裏には1番打者加藤大翔(1年)のタイムリーヒット、3番打者石井雄也(3年)のタイムリーヒットなどで3点を追加し、二死一、二塁から5番打者西谷浩成(3年)がセンターオーバーの二塁打を放って2点を加えて7対0とし、勝負を決定づけました。しかし3回表、連続四球などで無死満塁とされ、一死後相手の3番打者に走者一掃の三塁打を放たれて3点、さらに後続打者のタイムリーヒットで4点取られて7対4とされ、相手は打ち合いを受けて立つ恰好となりました。しかし、4回裏に2点、そして6回裏に2点を加えて11対4とし、7回コールドが見えてきました。7回表、コールドの危機を脱したい相手チームは、先発ピッチャーの横森をリリーフした米原大地(2年)を攻め立て1点を返す。8回裏、二死一塁から代打瀧沢響(3年)がライトオーバーの二塁打を放って1点が入りゲームセット。結果12対5の8回コールドで勝利し、5回戦へ駒を進めました。

5回戦の相手は早大学院です。チャンスは作るものの得点ができないまま迎えた3回表、9番に入った先発ピッチャーの横森拓也(3年)が左中間を破る二塁打を放って出塁すると、3番打者石井雄也(3年)のセンター前ヒットで生還し1点、さらに4番打者佐々木翼(3年)ライト前ヒットで1点を加えて2対0。5回表に相手野手の失策などにより1点を追加、しかし6回裏に、レフト前ヒット、ピッチャー横森のボークや暴投などで1点を返されて3対1になりました。7回表打線が繋がりに、5番打者西谷浩成(3年)や代打重松秀(3年)の二塁打など4本のヒットに5四死球で一挙に6点を取り、その裏ピ

ッチャー横森が抑えて、結果9対1の7回コールドで勝利し、2年連続準々決勝へ駒を進めました。

準々決勝の相手は、天才スラッガー清宮幸太郎や長打力のある強打者加藤正樹を擁する強豪校の早稲田実です。1回裏、5番打者西谷浩成(3年)のタイムリーヒットで1点を先制したものの、その裏、先発したピッチャー横森の立ち上がりを攻め、2本の長短打と2四球などで3点が入り逆転されてしまいました。2回裏、内野陣のバント処理のミスや3四死球、2本のヒットなどで3点を取られ1対6。3回裏も2本の長短打で1点を取られて1対7となり、序盤で試合の主導権は相手に握られる展開になりました。先発ピッチャー横森も本来のピッチングは影を潜め、安定さに欠けていました。5回表に1点を返すと、6回裏には2点を加えられて2対9となり、7回表が無得点で終わればコールド負けになってしまうという危機を、この回先頭打者の代打佐久本風(3年)が二塁打を放って出塁すると、3番打者石井雄也(3年)がヒットを放ち、4番打者佐々木翼(3年)のタイムリーヒットで1点、さらに5番打者西谷浩成(3年)がセンターオーバーの三塁打を放って2点を加えて5対9となり、打線がつながり反撃ムードが出始めたかに見えましたが、相手のリリーフピッチャーに後続を断たれてしまいました。8回裏に2点を加えられ、結果5対11で敗れてしまい、昨年に続きベスト8止まり、選手たちの熱い夏は残念ながら終わってしまいました。その後、早稲田実は勝ち上がり、この西東京大会で優勝を果たし、平成27年8月6日から始まった第97回全国高等学校野球背B主権大会(於:阪神甲子園球場)に出場してベスト4に輝きました。

現在の部員数は、現役を退いた3年生24人を除いて、2年生20人、1年生24人、そして女子マネージャー4人の計48人です。夏の大会での悔しい敗戦から2か月間、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップを図り、練習内容をより充実させて毎日夜遅くまで練習に取り組んできました。また、8月上旬の私学リーグ、8月中旬の関西遠征など、強豪校を相手に練習試合を数多くこなして実戦力を磨き上げてきました。

しかしながら、9月5日から始まった平成27年度秋季東京都大会の一次予選、初戦で敗退してしまい、予選を突破することができず、6年前から続いていた本大会出場が途切れてしまいました。また、勝つためには何をしなければならないのか、勝ち切るためには何が必要なのか、いくつも課題を残した試合でもありました。覇気がなく、ここぞという時に力を発揮できない現在のチームを来年春までに、勝てる、粘り強い、元気のあるチームに作り替えて出直します。

野球部は、これからも甲子園出場をめざして、また、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉にして、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

《戦績》

◇平成26年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第19ブロック 1回戦 26.9.6 於：八王子高校上柚木グラウンド

実践学園 0 0 0 0 0 0 0

八王子 0 0 4 2 2 2× 1 0 (6回コールド)

投手—捕手：横森(2年)，篠原(2年)—細野(1年)，齊藤(2年)

第19ブロック 2回戦 26.9.13 於：八王子高校上柚木グラウンド

拓大一 0 0 1 0 0 0 0 1

八王子 0 1 2 1 0 0 4× 8 (7回コールド)

投手—捕手：宮本(2年)，山口(2年)—柴田(2年)

第19ブロック A代表決定戦 26.9.15 於：八王子高校上柚木グラウンド

日大豊山 0 0 0 0 0 0 0 0

八王子 0 1 0 0 0 0 0 0 × 1

[本大会出場]

投手—捕手：田村(1年)—柴田(2年)

◇平成26年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 26.10.12 於：八王子市民球場

八王子 0 1 0 5 0 0 0 0 1 7

昭和一学園 0 0 0 0 1 0 2 0 0 3

投手—捕手：横森(2年)—細野(1年)

2回戦 26.10.18 於：八王子市民球場

八王子 0 1 2 1 2 1 1 0 0 8

桐 朋 0 2 0 0 0 0 0 0 0 2

投手—捕手：篠原(2年)—齊藤(2年)

3回戦 26.10.19 於：八王子市民球場

早稲田実 0 0 0 0 0 4 0 4 0 8

八王子 0 0 0 0 0 0 2 0 0 2

投手—捕手：横森(2年)，篠原(2年)，田村(2年)，坂本(1年)—細野(1年)，齊藤(2年)

◇平成27年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

2回戦 27.4.3 於：八王子市民球場

昭 和 1 0 0 0 0 1

八王子 2 0 4 1 4× 1 1 (6回コールド)

投手—捕手：横森(3年)—齊藤(3年)

3回戦 27.4.5 於：八王子市民球場

八王子	0	2	0	3	0	2	0	2	9	
東亜学園	0	0	0	0	1	0	0	0	1	(8回コールド)

投手—捕手：横森(3年)—齊藤(3年)

4回戦 27.4.12 於：八王子市民球場

佼成学園	0	0	0	0	0	1	2	0	1	4
八王子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

投手—捕手：横森(3年)—齊藤(3年)

◇第97回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

3回戦 27.7.17 於：八王子市民球場

国立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
八王子	3	0	1	0	3	3×			10	(6回コールド)

投手—捕手：篠原(3年)—齊藤(3年)

4回戦 27.7.18 於：八王子市民球場

総合工科	0	0	4	0	0	0	1	0	5	
八王子	2	5	0	2	0	2	0	1×	12	(8回コールド)

投手—捕手：横森(3年)，米原(2年)—齊藤(3年)

5回戦 27.7.20 於：八王子市民球場

八王子	0	2	0	0	1	0	6	9		
早大学院	0	0	0	0	0	1	0	1	1	(7回コールド)

投手—捕手：横森(3年)—齊藤(3年)

準々決勝 27.7.22 於：神宮球場

八王子	1	0	0	0	1	0	3	0	0	5
早稲田実	3	3	1	0	0	2	0	2	×	11

投手—捕手：横森(3年)，熊倉(3年)，篠原(3年)，横森(3年)—齊藤(3年)

◇平成27年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第22ブロック 2回戦 27.9.13 於：八王子高校上柚木グラウンド

城東	2	0	0	1	2	0	0	0	0	5
八王子	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3

投手—捕手：早乙女(1年)，米原(2年)，奥村(1年)—細野(2年) 【本大会出場ならず】

女子バスケットボール部活動歴

八王子学園八王子高等学校
女子バスケットボール部
顧問 宮内 慶喜

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、女子バスケットボール部活動の様子をご報告いたします。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。

◇女子バスケットボール部の紹介

八王子学園八王子中学校・高等学校女子バスケットボール部は『心をひとつに』をモットーにインターハイ出場を目指し、毎日練習を重ねています。是非、声援をお願い致します。

※チームニックネーム『superbees』（蜂のようにうるさいディフェンスを目指します）

◇関東大会予選始まる

本校高校女子バスケットボール部も新1年生が10名入部し、総勢28名の大所帯になりました。みんな関東大会本大会出場を目指して頑張っています。是非応援よろしくお願ひします。

◇関東大会出場！

5/5・5/6に実施された、東京都女子バスケットボール関東大会東京都予選において第8位となり山梨県富士吉田市で実施された第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会へ11年ぶり5回目の出場を決めました。

6/6に実施された本大会では、埼玉代表の昌平高等学校と対戦し71-89で一回戦敗退となりました。対戦相手は準優勝を果たす強豪でしたが、いわゆるスポーツ推薦がない当部にとってはよく頑張れた結果だと思います。



八王子学園同窓会役員名簿

平成27年11月1日 現在

◇八王子学園同窓会役員

役職	氏名	卒業回	卒業年
会長	濱野 益男	高 4回	昭27年卒
副会長	山口 善衛	旧 4回	昭15年卒
同	細谷 浩三	旧10回	昭20年卒
同	福与 孫十	高 1回	昭23年卒
同	坂本 利男	高 8回	昭31年卒
同	中 島 憲	高17回	昭40年卒
同	山 田 実	高25回	昭48年卒
会計	根 本 明	高16回	昭39年卒
同	池 上 洋平	高59回	平19年卒
理事	山 田 勝彦	旧11回	昭21年卒
同	内 藤 一彦	高 2回	昭25年卒
同	黒 沢 愛治	高 3回	昭26年卒
同	田 中 克子	高14回	昭37年卒
同	田 中 勝	高14回	昭37年卒
同	武藤 富美子	高20回	昭43年卒
同	鴨 居 邦子	高21回	昭44年卒
監事	須 田 佳津緒	高 4回	昭27年卒
同	渡 辺 保	高14回	昭37年卒
相談役			

◇同窓会選出法人理事

役職	氏名	卒業回	卒業年	選任条項
理事	山口 善衛	旧 4回	昭15年卒	寄付行為第6条第四号
同	濱野 益男	高 4回	昭27年卒	寄付行為第6条第五号
同	中 島 憲	高17回	昭40年卒	同

◇同窓会選出法人評議員

役職	氏名	卒業回	卒業年	選任条項
評議員	山口 善衛	旧 4回	昭15年卒	寄付行為第22条第五号
同	福与 孫十	高 1回	昭23年卒	同
同	黒 沢 愛治	高 3回	昭26年卒	同
同	坂本 利男	高 8回	昭31年卒	同
同	田 中 克子	高14回	昭37年卒	同
同	田 中 勝	高14回	昭37年卒	同
同	山 田 実	高25回	昭48年卒	同

八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>